

学科における授業形態の特徴

全体のデータ数	5037	
演習	2124	42.2%
講義	2326	46.2%
講義・演習	6	0.1%
実技	516	10.2%
実習	65	1.3%

全回答者



社会学科データ数	891	
演習	247	27.7%
講義	620	69.6%
講義・演習	0	0.0%
実技	24	2.7%
実習	0	0.0%

地域社会学科



音楽学科データ数	1202	
演習	525	43.7%
講義	469	39.0%
講義・演習	0	0.0%
実技	199	16.6%
実習	9	0.7%

音楽学科回答者



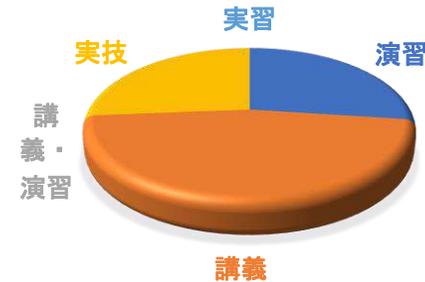
保育データ数	1829	
演習	1050	57.4%
講義	717	39.2%
講義・演習	6	0.3%
実技	0	0.0%
実習	56	3.1%

保育学科



美術学科データ数	1115	
演習	302	27.1%
講義	520	46.6%
講義・演習	0	0.0%
実技	293	26.3%
実習	0	0.0%

美術学科

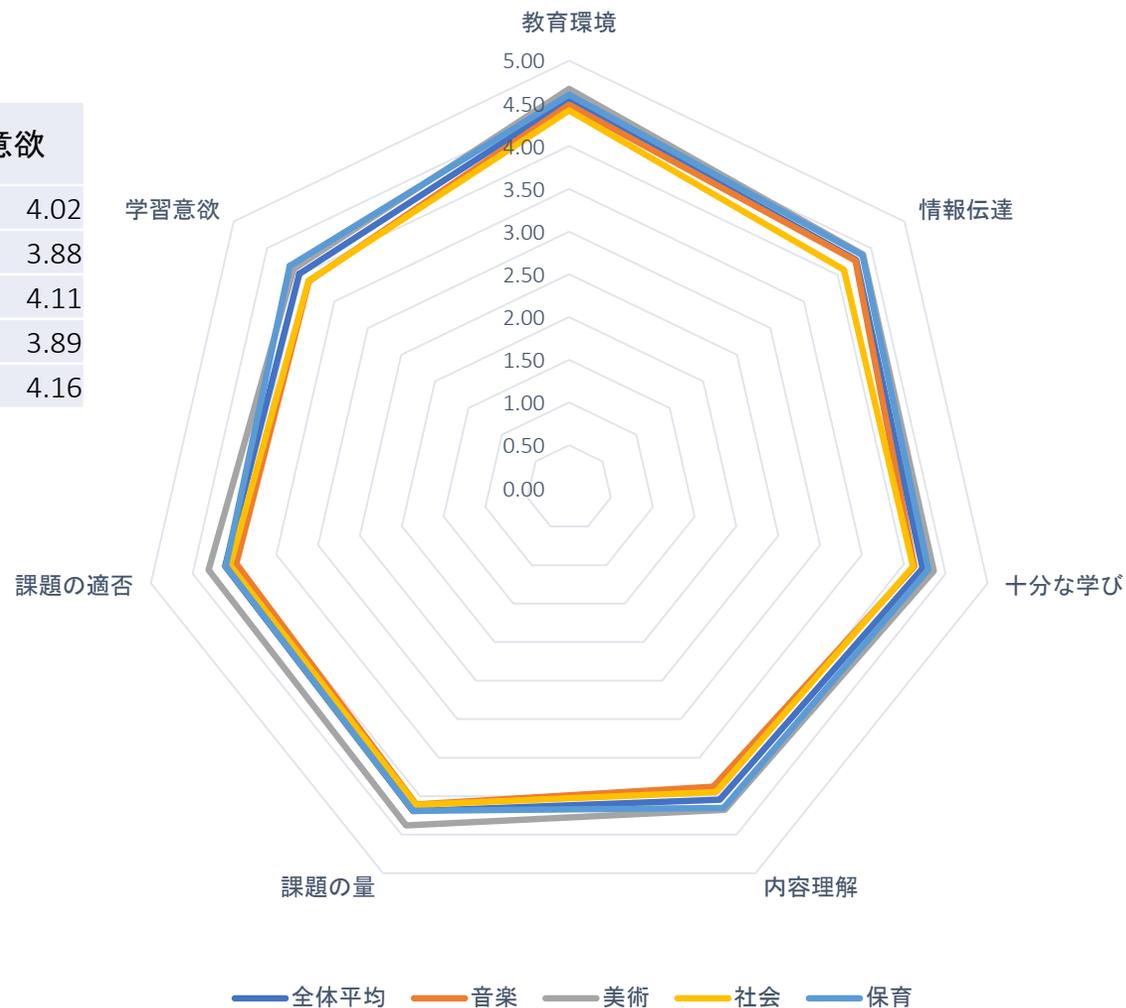


本学は、学科ごとに授業の狙いが異なっており、授業形態についても異なっている。したがって、全体の平均値を基に学科ごとの満足度を比較することは、統計上ほとんど意味を持たない。本アンケートの有効回答に記載されている授業形態のデータをもとに比較を試みたのがこのページのグラフである。例えば、音楽・美術の2学科においては、実技科目の割合が他学科と比較して多い。地域社会学科は、講義の割合が他学科と比べて顕著に高い。また、保育科は演習科目の割合が高い。したがって、地域社会学科は、比較的教員による一方的な知識の伝達を中心とする講義の時間が多いのに対して、他学科は、教員と学生、学生間の相互活動が中心となる授業が多い。この学科館の違いを踏まえた分析をする必要がある。

講義科目に関する学科比較

	教育環境	情報伝達	十分な学び	内容理解	課題の量	課題の適否	学習意欲
全体平均	4.54	4.28	4.23	4.05	4.20	4.11	4.02
音楽	4.48	4.27	4.13	3.88	4.11	3.98	3.88
美術	4.67	4.38	4.36	4.18	4.38	4.31	4.11
社会	4.41	4.10	4.11	3.95	4.11	4.05	3.89
保育	4.60	4.37	4.29	4.15	4.19	4.10	4.16

講義科目レーダーチャート



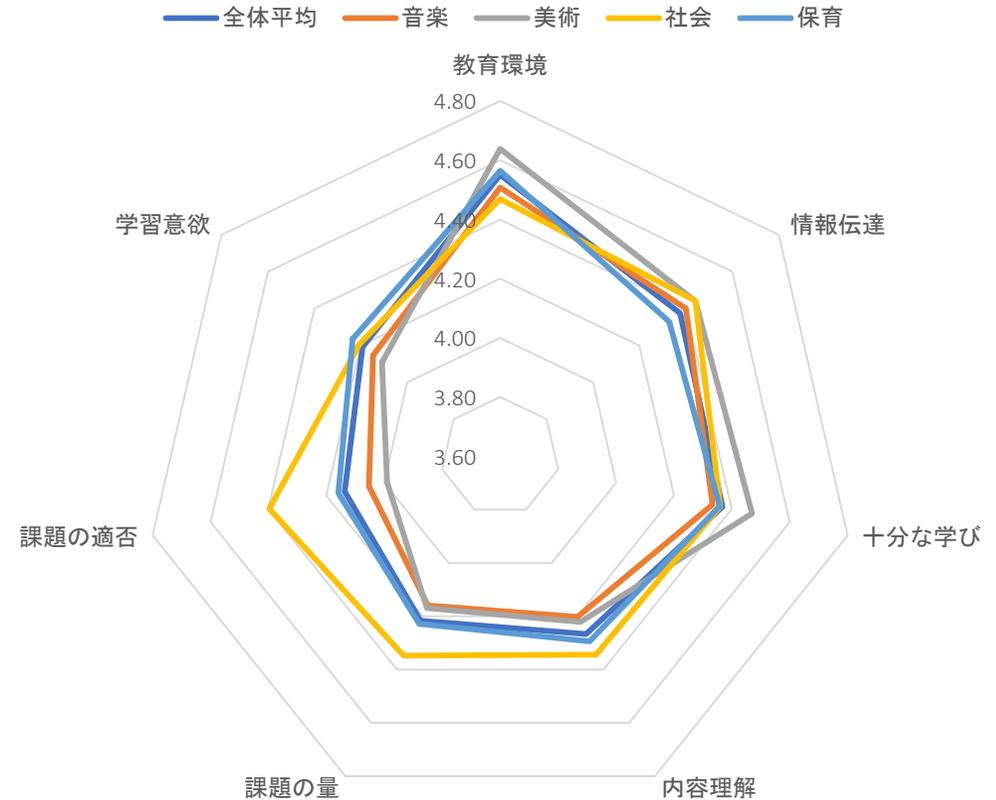
講義型科目についてのアンケート各項目の平均値を学科ごとに比較すると、4学科に置いてほとんど有意な差が見られない。

演習科目に関する学科比較

	教育環境	情報伝達	十分な学び	内容理解	課題の量	課題の適否	学習意欲
全体平均	4.55	4.38	4.37	4.27	4.22	4.14	4.19
音楽	4.51	4.40	4.33	4.20	4.16	4.05	4.15
美術	4.64	4.44	4.47	4.22	4.17	3.99	4.11
社会	4.47	4.44	4.36	4.34	4.35	4.40	4.21
保育	4.56	4.33	4.36	4.29	4.23	4.16	4.24

演習科目の学科間比較では、質問項目3「十分な学びがあったか」では、美術学科がやや好意的な回答が多い。質問項目4「内容理解」及び質問項目5「課題の量」においては、地域社会学科の好意的回答が他学科に比べて多い。

演習科目レーダーチャート

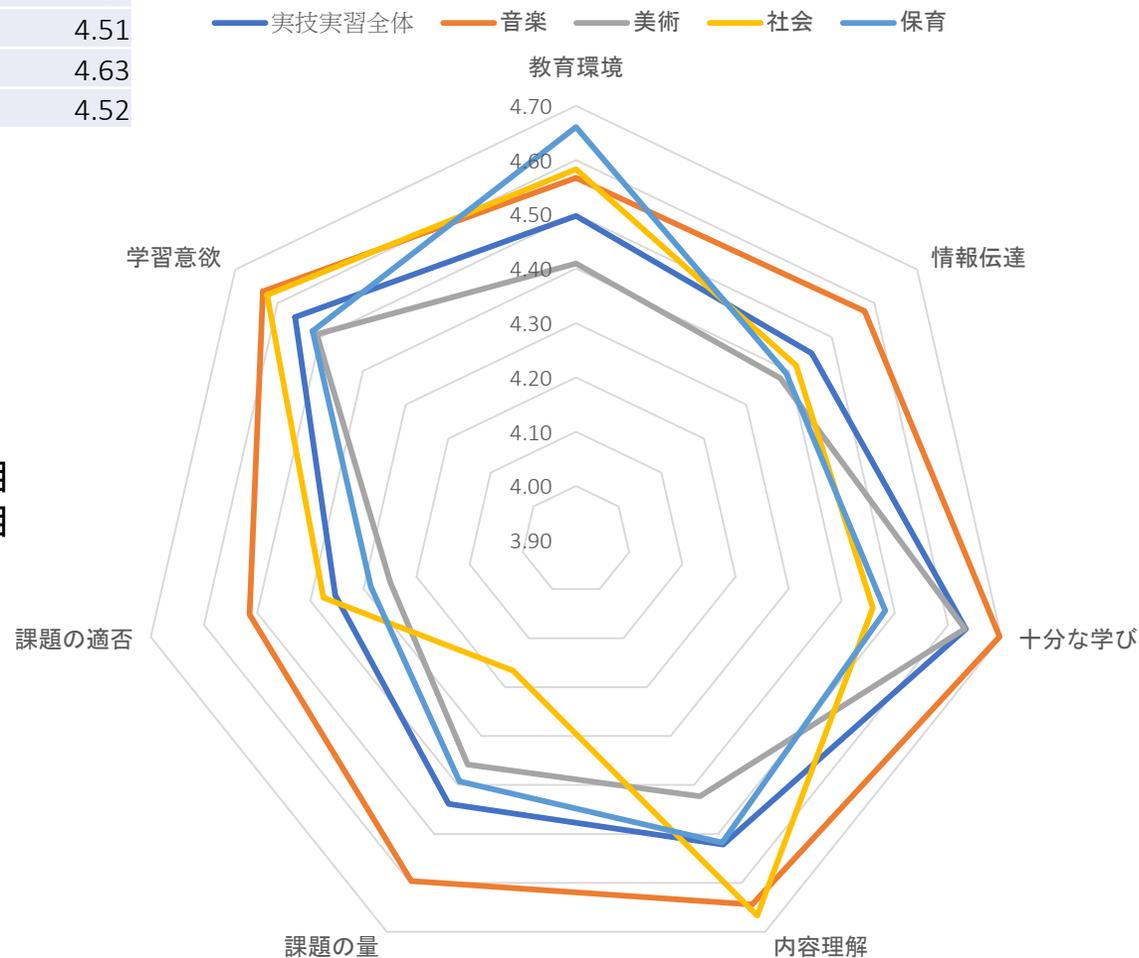


実技実習科目に関する学科比較

	教育環境	情報伝達	十分な学び	内容理解	課題の量	課題の適否	学習意欲
実技実習全体	4.50	4.45	4.63	4.52	4.44	4.35	4.56
音楽	4.57	4.58	4.70	4.64	4.60	4.51	4.63
美術	4.41	4.38	4.63	4.42	4.36	4.25	4.51
社会	4.58	4.42	4.46	4.67	4.17	4.38	4.63
保育	4.66	4.39	4.48	4.52	4.39	4.29	4.52

実技実習に関する学科間比較では、質問項目1「教育環境」以外の項目において、音楽学科が好意的回答を多く得ている。社会については項目間にばらつきが見られるが、該当する科目は1つだけであることから、有意的な比較・分析は不可能である。

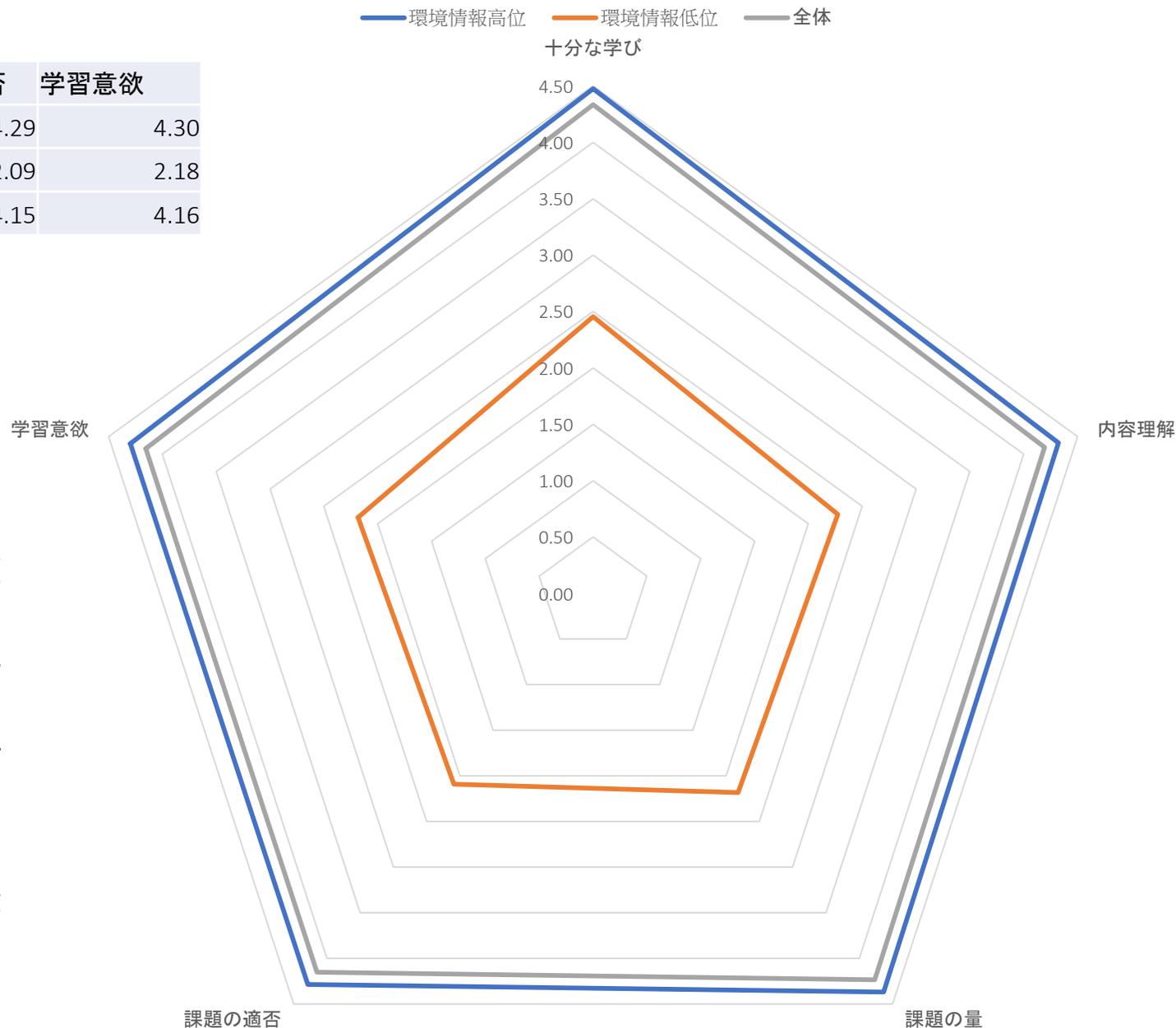
実技実習レーダーチャート



教育環境及び情報伝達と学びの相関に関する比較

	十分な学び	内容理解	課題の量	課題の適否	学習意欲
環境情報高位	4.47	4.32	4.37	4.29	4.30
環境情報低位	2.45	2.27	2.18	2.09	2.18
全体	4.33	4.20	4.23	4.15	4.16

教育環境・情報伝達と学びの相関



質問項目 1 及び 2 は、教育環境及び情報伝達に関する項目であり、学びや授業を成立させつ外的要因について問うたものである。これらの項目に対する回答を高位群（5 または 4 で回答したもの）と低位群（1 または 2 で回答したもの）に分類し、その他の項目の回答における比較を示したものである。ただし、両者の回答数には、かなりの差があるため、この比較の有意性については不明である。

このグラフからは、外的要因について低位の回答をしている学生（環境等が整っていないあるいは情報伝達がうまくいっていない）は、あらゆる項目において高位群に比べて、低次の回答となっている。